

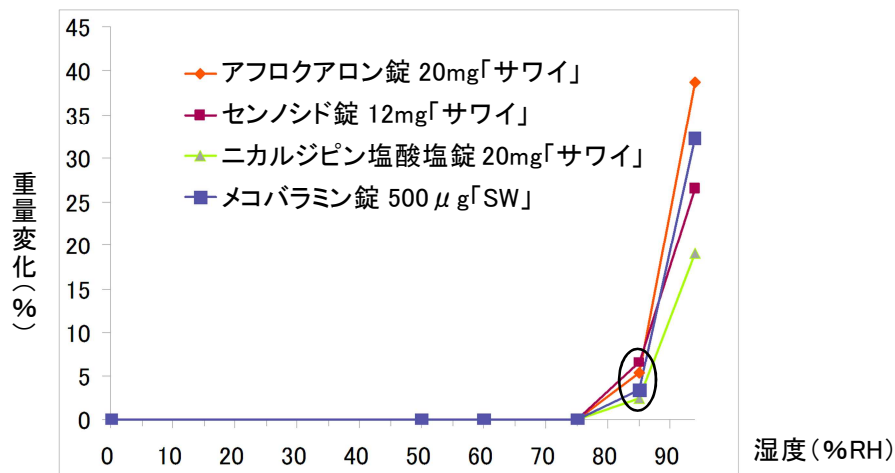
糖衣錠の夏季における取り扱いのお願い

糖衣錠の糖衣は白糖できており、服用性が良い一方で極端な高湿度下にて吸湿すると変色、変形します。梅雨や夏場など湿度が高い時期にはご注意ください。

《弊社の主な糖衣錠の吸湿の様子》

アフロクアロン錠 20mg「サワイ」 白色～淡黄色	センノシド錠 12mg「サワイ」 褐色～黒褐色	ニカルジピン塩酸塩錠 20mg「サワイ」 わずかに緑みを帯びた黄色	メコバラミン錠 500 μg「SW」 暗赤色

糖衣錠は吸湿すると、糖衣層が溶けて主成分が滲み出てくる性質があります。
 なお、この吸湿は下表(25°C・1ヵ月)のように 85%RH 以上となると急激に起こり、錠剤が膨潤します。



《高湿度下での変化について》

メコバラミン錠 500 μg「SW」を無包装、グラシン紙又はポリセロで一包化し、高湿度に晒しました。その結果、以下のようにポリセロ包装であっても湿度の影響を受けることがわかりました。

保管条件		開始時	2日	5日	1週間	1ヵ月
無包装	25°C・94%RH	淡黄色	微黄色	赤白色	赤白色	赤白色
	40°C・94%RH		赤白色	溶け出す	溶け出す	溶け出す
グラシン紙分包	25°C・94%RH		変化なし	赤白色	赤白色	溶け出す
	40°C・94%RH		赤白色	赤白色	溶け出す	溶け出す
ポリセロ分包	25°C・94%RH		変化なし	変化なし	光沢なし	微黄色
	40°C・94%RH		変化なし	赤白色	溶け出す	溶け出す

医療機関様へのお願い

夏季(6～9月)は湿度が高いため、糖衣錠は PTP シートでの調剤が可能な際はお願いします。一包化する場合には、右の注意事項を患者さんへご指導をお願いします。

患者さんへのお願い(梅雨・夏場)

- 糖衣錠は缶などの密封容器に保管し、乾燥剤(シリカゲルなど)を入れて、光の当たらない涼しい場所に置いて下さい。
- 夏場の車内は高温になりますので長時間放置しないようお願いします。
- 保管時は PTP シートを剥など切らず、そのまま保管して下さい。(切り離れたシートの角は鋭利なので別のシートに穴を開けて湿気が入る場合があります。)